



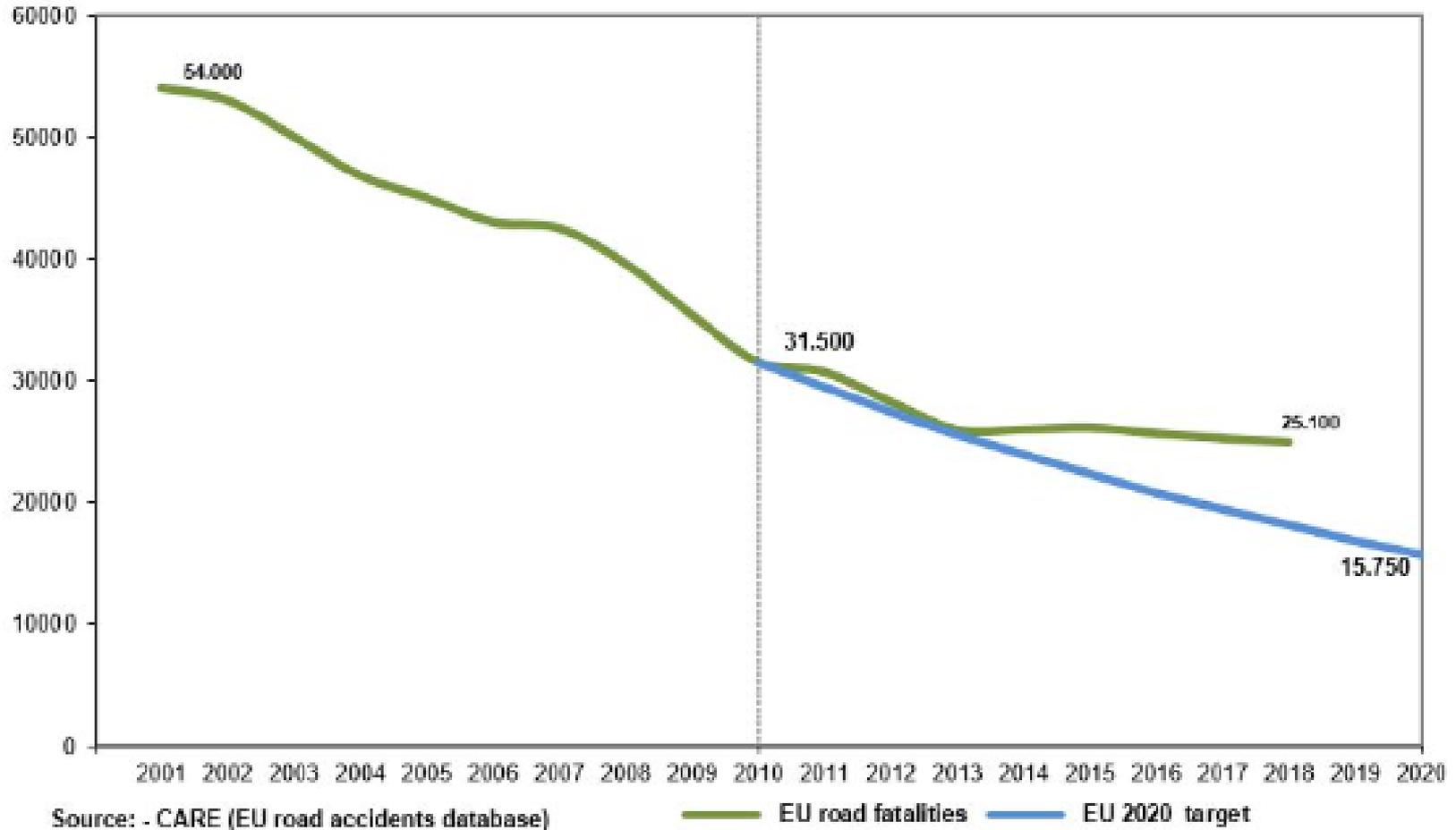
第八回
2020年2月25日
海外班



EU



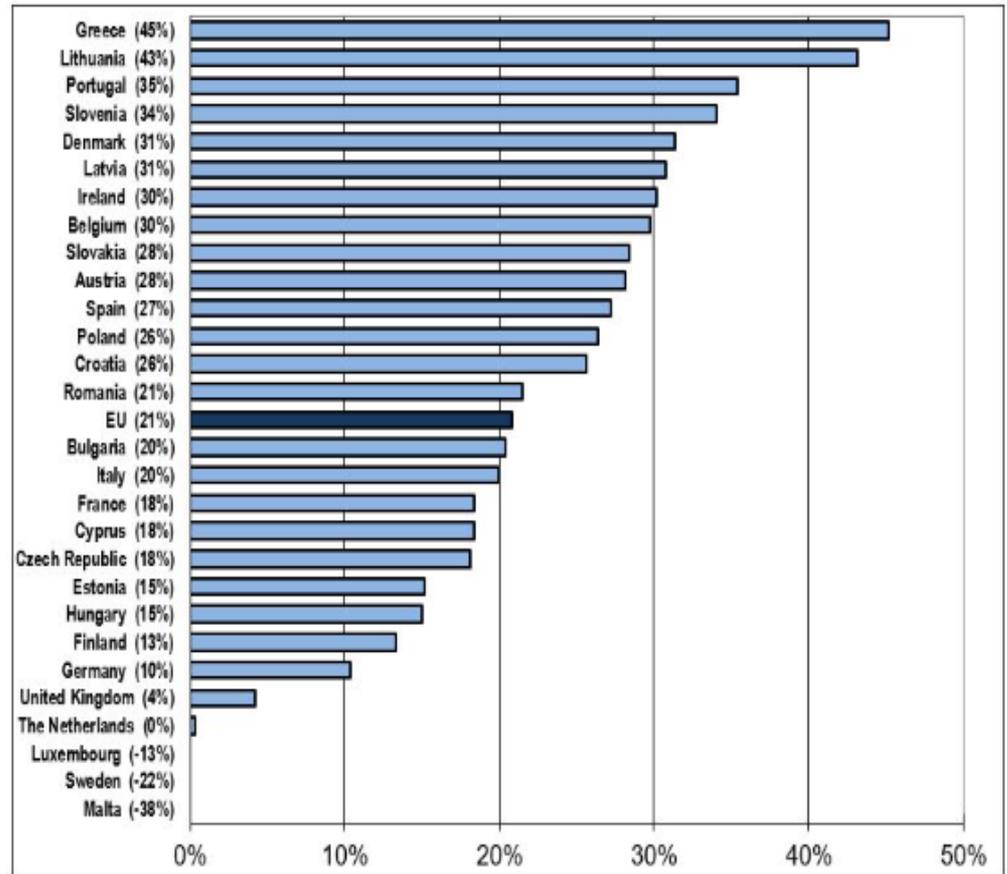
グラフ1:長期にわたる開発: EUにおける交通事故死者の減少



ゴールがまだ達成していませんが...

ヨーロッパの交通安全の状況 (Some good news!)

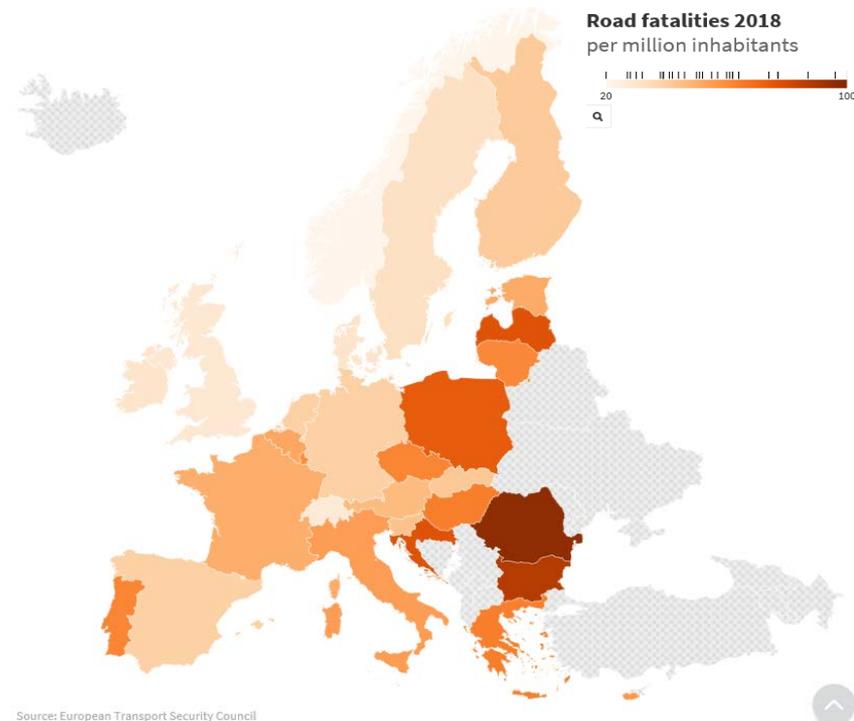
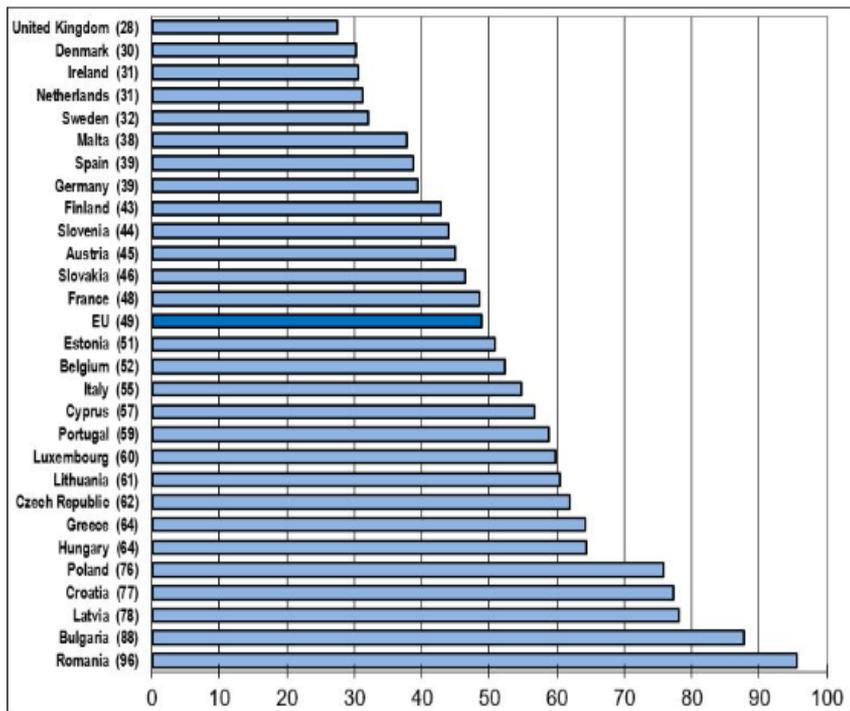
- 2010-2018年、交通事故死亡者数の最大の減少は:
- ギリシャ(45%)
- リトアニア(43%)
- ポルトガル(35%)
- スロベニア(34%)
- EU全体の平均減少は21%



グラフ3: 2010年から2018年までの人口100万人あたりの死亡者の減少率

ヨーロッパの交通安全の状況 (The bad news)

- 2018年の交通事故死者数がもっとも多い国は:
ルーマニア、ブルガリア、ラトビア、クロアチア、ポーランド
- 2018年、交通弱者は安全性の改善がもっとも少なかった状態です。



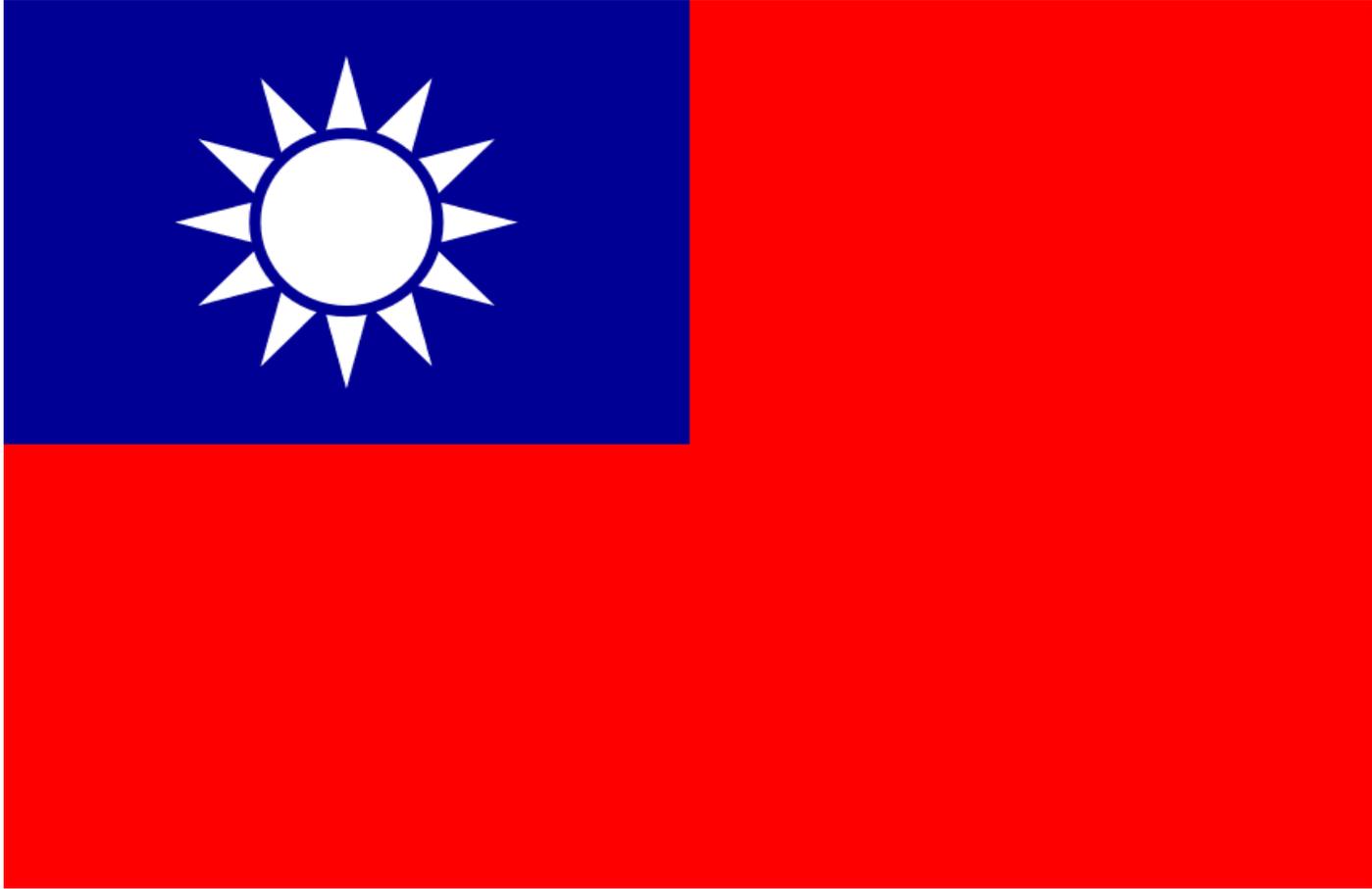
グラフ3: 2010年から2018年までの人口100万人あたりの死亡者の減少率

事故が増えた理由

- ルーマニアとブルガリアは、道路交通の死亡者が非常に多い理由として、ドライバーのスキル不足と道路の質の低さを非難しています。
- 速度制限を超え、歩行者の権利を尊重しないドライバーは、近年の交通事故の2つの主な原因でした。
- ヨーロッパでもっとも多く交通事故死亡者が出ているのは、夏休みに旅行する7月、8月、9月です。



台灣



台湾の飲酒運転現状

	事故件数	死亡人数	受傷人数
2014年	13,822	534	17,563
2015年	12,112	467	15,413
2016年	11,243	398	14,367
2017年	10,055	331	12,832
2018年	9,718	315	12,385
2019年			
(1月至10月)	7,222	238	9,220

※日本の年間飲酒事故は3千件、死亡事故約200件(だんだん改善されてはいますが、まだまだ厳しい状況であります)

飲酒運転の厳罰化(行政罰)

初犯	バイク	1.5万～9万元(約日本5.4万～32万円) 【台湾の新卒初任給は約10万円】	車とバイクはその場で押収、運転免許を1年～2年間停止	12歳以下の同乗者や被害者に怪我させた場合2年～4年間免許停止。被害者が重体か死亡した場合、生涯免許取り消し
	自動車	3万～12万元(約日本10万～43万円)		
5年以内再犯	バイク	9万(約日本32万円)	回数によって罰金が9万元(約日本円32万円)ずつ追加される	免許停止、車載型アルコール検知器の装着が義務付けられる。装着しない場合、1万2千元(約4万3千元)の罰金が科せられ、車が押収される
	自動車	12万(約日本43万円)		
その他	自転車などの軽車両	300元～600元(約1080円～2100円)から2倍に引き上げられ、一斉検問を拒否した場合の罰金も、2倍の2400元(約8700円)となる		
	同乗者にも連帯責任	18歳以上の同乗者は600元～3000元以下(約2100円～1万円) 70歳以上、心身障害者、公共交通機関の乗客が除外される		

飲酒運転の厳罰化(刑事罰)

呼気1リットル当たりのアルコール濃度が0.25ミリグラム以上又は血中アルコール濃度が0.05パーセント以上

人を死なせた 3年以上10年以下の懲役

重傷を負わせた 1年以上7年以下の懲役

5年以内に同様の罪の確定判決又は執行猶予判決を受けた者が飲酒運転をし、人を再度死なせた場合には無期懲役又は5年以上の懲役、重傷を再度負わせた場合には3年以上10年以下の懲役に処せられるおそれがあります。

台湾の進み

- 飲酒運転防止のための重い罰金
- アルコールインターロックは予防手段として使用されます。
- 多数のスクーターとモーターバイクにより、法執行機関に互換性のあるインターロックが必要になりました。
- 法律は最近2019年に改正されました。



結論として...



アルコール検知器協議会

JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

結論として...

- 全体的な飲酒運転事故は世界的に減少しています。
- 自動車の技術が上がると、命も守れます。
- ドライバー教育や意識と高品質な道路開発が重要です。
- 日本はドライバーの安全性のために世界のリーダーであり革新者であり得ます。

